

医師のご家庭からも頼りにされている医学部受験専門塾
卒業後も生徒と先生の絆が続く関係

池袋理数セミナーが医学部への多数の合格者を輩出し続ける理由は、生徒一人ひとりの年間計画を掲げ、科学的な分析に基づく最適な学習戦略を提示していることです。理にかなった指導のもとに、生徒は自らをモチベートでき、生徒の努力は結果として報われます。今回は、そんなゆるぎない指導を続ける藤田博人代表と埼玉精神神経センター理事長／センター長・丸木雄一先生夫妻が対談し、理数セミナーの魅力について語ります。丸木家では3人のお子さんを理数セミナーに預け、お一人が医学部、お一人が薬学部へ進学しています。

この対談で医学部受験生をお持ちのご父兄に共感いただける点があれば幸いです。

家庭で学ぶ「医師の心」

藤田 丸木先生の家は代々医師です

きたのかに非常に興味があります。
丸木 私が医師になったのは、医師の家に生まれたためです。両親とも

池袋理数セミナーメンバー
藤田 博人 氏

A photograph showing three individuals seated on a large blue leather sofa in what appears to be a living room or office setting. On the left, a woman with long dark hair, wearing a red and black patterned sweater, is smiling and looking towards the center. In the middle, a man with dark hair, wearing a black long-sleeved shirt over a pink collared shirt, is also smiling and looking towards the center. On the right, another man with dark hair and glasses, wearing a dark blue pinstripe suit, white shirt, and a yellow and orange striped tie, is looking towards the center. Behind them is a window with light-colored curtains and a framed portrait of a person on the wall.

卒業後も先生に会いに行く

藤田 丸木家の教育方針を改めて聞いてみたいですね。ご両親の教育に対する見解が一致しているのではないでしょか。

丸木 子ども任せでは、どうしても
甘えが出来ますからね。

丸木（母） 子どもが自分で時間の
配分をするのは難しいと思います。
そこを「全教科」

ミナーの先生は「その大学の偏差値は合格圏内ですが、お宅の息子さんには教養科目の理解度が低い。この大學は教養を重視するので合格は難しいです」と指摘され、驚きました。

The image contains two side-by-side portraits of men. The man on the left, Kuroda Yuichi, is an elderly man with dark hair, wearing a light-colored shirt. The man on the right, Fujita Hiroto, is younger, wearing glasses, a white shirt, and a dark suit jacket.

丸木 雪絵 さん

丸木 雄一 氏
埼玉精神神経センタ

藤田 博人 氏
池袋理数セミナー
代表

学習方法、時間の配分等、合格までをトータルに徹底指導します」この力強い藤田先生の言葉をいただき、理数セミナーにお願いしました。

科目ごとの勉強時間の配分や方向性をトータルで見ないと、実力を最大限伸ばすことはできません。全員が目標を達成できないならば、その指導法は誤りです。理数セミナーでは創業時から「受験対策戦略会議」を行っています。毎週火曜日に全講師が集まり、教科の単元ごとに全生徒の学習分析を実施し、指導方針と学習内容を決めます。生徒一人に全講師が関わります。だから、直接指導していない子でも、うちの講師は生徒全員を知っています。生徒と講師が多い大手予備校では、なかなかできないシステムでしょう。

した。社宅の裏山は自然がいっぱいです。そこで遊びのびと育っていました。その当時は、私の父が身近にいましたから、子どもたちは医師にたるための薰陶を受けていました。若い頃の父は、私には厳しく教えていました。スバルタ教育でした。あれには抵抗がありました。ですから私は子どもたちに厳しくしませんでした。

藤田 私も彼らが、立派な医療人と
なり、医療の世界で活躍されること
を願っております。

丸木 理数セミナーでは、教科の勉
強以上のものもたくさん教えても
らったのではないでしょうか。でな
れば、卒業後も塾の先生を慕って、
会いに行ったりしませんからね。

藤田 理数セミナーは、今後も、ご父
兄、生徒との信頼関係を第一に、医学
部合格に導く指導を続けて参ります。

本日はお忙しいなか、本当にあり
がとうございました。

に医師でした。私が四代目です。曾祖父の丸木清太郎が明治25年、埼玉県毛呂山町に毛呂病院を開業。父丸木清美の代で病院は大きくなり、昭和47年に毛呂病院を母体に埼玉医科大学へと発展していきました。

医学部受験専門塾

医学部受験専門塾 ならではの指導システム

姿や、夜中でも呼び出されて家を出て行く姿を見ながら育ちました。私は、8人兄弟の7番目。兄弟のうち6人が医師になりました。医師になるのが当たり前という感覚。ただ、医師とは何かということを、親の背中から学びました。これは、医師になるつえでとても重要なことでした。

藤田 と、いうと?

丸木 医療はやはり奉仕なんです。医師の子は親の影響を受け、この奉仕の気持ちをより強く持っているように思います。医師のDNAを引き継いでいるのかもしれませんね。

藤田 私ども池袋理数セミナーでは、丸木家の兄弟をお預かりしましたが、それぞれ個性があり皆素直で良い子でした。私たちの指導にも必

「成績はすぐに上がるのではないかもしれないが、何としても医学部に入らせたい。合格させたい。その力を付けさせたい」こうお話されました。私は「理数セミナーは生徒の結果が出ない指導はしません。一人ひとりのやる気と学力を育て合格へ導きます」とお答えさせていただきました。

丸木（母） 理数セミナーのいいところは、トータルで見て「どこを補えばいいか」「どこを掘り下げればいいか」について的確に指示していたといった点だと思います。

藤田 当時、ご相談に来られたのはお母さんでしたね。面談させていただいたのが私でした。今でもよく覚えています。

卒業後も先生に会いに行く

藤田 丸木家の教育方針を改めて聞いてみたいですね。ご両親の教育に対する見解が一致しているのではないかでしょうか。

丸木（母） そうかもしれません。主人は忙しいですが、子どものことになると、ちゃんと関わります。

丸木 我が家は、仲がいいと思います。子どもたちが小さい頃、私の仕事の関係でアメリカに一家で住んでいたことがあって、その影響があるかもしれません。家族全員で行って、三男はアメリカで生まれました。向こうにいるときに、家族で過ごすということが習慣付けられたのかもしれません。

帰国後は病院の社宅に住んでいました。社宅の裏山は自然がいっぱいです、そこでのびのびと育つていました。その当時は、私の父が身近にいましたから、子どもたちは医師になるための熏陶を受けていました。若い頃の父は、私には厳しく教えていました。スパルタ教育でした。あれには抵抗がありました。ですから、私は子どもたちに厳しくしませんでした。

藤田 確かに強制の勉強では、わかることで終わります。「わかる」「理解する」「定着する」、この3つを指導習慣化させることが重要で、子ども自らがモチベートを持続できる精神

力を持つこともあります。甘やかしでも突き放してもモチベートされません。丸木家の教育方針がよかつたのだと思います。3人のうち、一人だけなら偶然かもしれません、二人が医学部、一人が薬学部に進みましたから、それは証明されています。長男は高校生から、次男と三男は中学時代から指導ましたが、彼らは一度も医療以外の道へ進みませんでしたからね。

丸木 おかげさまで、長男は薬剤師、次男は消化器内科の医師になり、三男は今年医師としての初期研修が終わり専門を決める段階です。

長男は、現在うちの病院で薬剤師をしています。スタッフの皆さんの信頼とサポートを得ながら、医療人として日々成長の姿を見せてくれています。次男、三男の医学部組もそれぞれこれからが楽しみですし、大いに期待しています。

藤田 私も彼らが、立派な医療人となり、医療の世界で活躍されることを願っています。

丸木 理数セミナーでは、教科の勉強以上のものもたくさん教えてもらつたのではないでしょうか。でなければ、卒業後も塾の先生を慕って、会いに行つたりしませんからね。

藤田 理数セミナーは、今後も、ご父兄、生徒との信頼関係を第一に、医学部合格に導く指導を続けて参ります。本日はお忙しいなか、本当にありがとうございました。